

20 司書教諭に関する科目

授業科目	学校経営と学校図書館		担当者	岩下 雅子
	[履修年次]	1年	授業外対応	メールによる
	[学期]	後期	[単位]	2
			[必修/選択]	必修
			[授業形態]	講義
テーマ及び概要	<p>【テーマ】従来の学校図書館から、さらに変化し続ける“新しい学校図書館”について理解する</p> <p>【概要】学校図書館はいつ頃、どのような歴史を経て現在の学校図書館へと移り変わってきたのだろう。現在の学校図書館が公共図書館、公共施設、地域と積極的に相互協力・連携するようになったのはなぜだろう。多くの学校図書館の運営事例を校種別に学ぶと同時に、今後の学校図書館の可能性についてもさまざまな角度から考察します。</p> <p>【到達目標】学校経営の中の学校図書館の位置づけを理解し、司書教諭の果たす役割を学ぶ</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	(1) プリント (2)			
授業スケジュール	<p>第 1 回 学校図書館の理念と教育的意義について学ぶ</p> <p>第 2 回 学校図書館法（学校図書館法と読書に関する法律について知識を深める）</p> <p>第 3 回 世界・日本の学校図書館史（ルソー、マン、デューイ、沢柳政太郎と図書館、読書の関わりについて学ぶ）</p> <p>第 4 回 鹿児島県の読書運動（「母と子の20分間運動」と樟島十について学ぶ）</p> <p>第 5 回 学校経営の中の学校図書館（校務分掌及び司書教諭、学校司書、教職員との連携、共通理解について学ぶ）</p> <p>第 6 回 学校経営の中の学校図書館（学校組織における学校図書館、館長としての校長、学校内外の協力体制づくり）</p> <p>第 7 回 学校図書館の運営①小学校の事例を中心に学ぶ</p> <p>第 8 回 学校図書館の運営②中学校の事例を中心に学ぶ</p> <p>第 9 回 学校図書館の運営③高等学校の事例を中心に学ぶ</p> <p>第 10 回 読書感想文の取組みについてグループで考察する</p> <p>第 11 回 読書感想画についてグループで考察する</p> <p>第 12 回 特別支援教育と学校図書館についてグループ学習を通して理解する</p> <p>第 13 回 学校図書館広報活動（広報活動、読書手法等について学ぶ）</p> <p>第 14 回 映画「やさしい本泥棒」を通して読書が人間に果たす役割・意義について学ぶ（1）</p> <p>第 15 回 映画「やさしい本泥棒」を通して読書人間にもたらす役割・意義について学ぶ（2）</p>			
授業外学習(予習・復習)	事前に配布された資料は読んでくること			
成績評価の方法	筆記試験（60%）授業ごとに実施するレポート（30%）発表（10%）			
実務経験について	高等学校及び短期大学図書館司書（専門員）として37年間勤務			

授業科目	学習指導と学校図書館		担当者	岩下 雅子
	[履修年次]	1・2年	授業外対応	メールによる
	[学期]	後期	[単位]	2
			[必修/選択]	必修
			[授業形態]	講義
テーマ及び概要	<p>【テーマ】学校図書館法(この法律の目的)第二条の「授業の展開に寄与する」とはどういうことだろう。学校図書館を担う司書教諭と学校司書が協働しながら支援する学校図書館の授業支援についてグループ討議を通して学びを深める。</p> <p>【概要】常にアクティブラーニングを理解しながら授業を進める。多くの学校図書館が取り組んでいる様々な授業支援のための図書館活用例を参考に、学校図書館と授業（教科指導）にとどまらず「読書センター」「学習センター」「情報センター」の大きな流れの中の学校図書館を理解する。司書教諭としての職責や職務内容についての理解を深めるとともに学校図書館と全教科の授業支援の具体的な事例(全国)を参考に、学校司書との協働についてもグループ等で討議する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>学習指導（授業支援）と学校図書館をうまくコーディネートするために、司書教諭が果たす役割を理解する。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	(1) プリント (2) 林容子『総合的な学習』に司書教諭はどう関わるか』全国SLA 2005年 三上久代『学校図書館における新聞の活用』全国SLA2006年 稲井達也『資質・能力を育てる学校図書館活用デザイン』学事出版 2017年			
授業スケジュール	<p>第 1 回 学校図書館利用指導（学校図書館オリエンテーションについてグループで討議する）</p> <p>第 2 回 小学校の図書館教育①（国語の教科書では図書館利用、読書指導がどのように体系化されているか考察する）</p> <p>第 3 回 小学校の図書館教育②（学習指導要領を踏まえて図書館利用とメディア活用についてグループで討議する）</p> <p>第 4 回 中学校の図書館教育①（国語の教科書では図書館利用、読書指導がどのように体系化されているか考察する）</p> <p>第 5 回 中学校の図書館教育②（学習指導要領を踏まえて図書館利用とメディア活用についてグループで討議する）</p> <p>第 6 回 高校の図書館教育①（図書館の授業支援事例を参考に、読書手法を用いた授業支援について考察する）</p> <p>第 7 回 レファレンス等の情報サービスについてグループで事例研究し発表することでスキルを培う）</p> <p>第 8 回 教科学習に活用する学校図書館①（グループで教科に関連したブックトークを構築する）</p> <p>第 9 回 教科学習に活用する学校図書館②（グループで構築したブックトークを発表する）</p> <p>第 10 回 教科学習に活用する学校図書館③（ブックトークで取り上げた図書を参考にパスファインダーを作成する）</p> <p>第 11 回 教科学習に活用する学校図書館④（パスファインダーの発表を通してスキルアップに繋げる(1)）</p> <p>第 12 回 教科学習に活用する学校図書館⑤（パスファインダーの発表を通してスキルアップに繋げる(2)）</p> <p>第 13 回 教科学習に活用する学校図書館⑥（新聞を活用した授業（NIE）をグループで構築する）</p> <p>第 14 回 教科学習に活用する学校図書館⑦（新聞を活用した授業（NIE）のグループ発表を通して、学びを深める）</p> <p>第 15 回 授業の連携を通してこれからの司書教諭の役割・課題・展望についてグループで討議する。</p>			
授業外学習(予習・復習)	適宜指示、事前に配布された資料は読んでくること			
成績評価の方法	筆記試験（60%）授業ごとに実施するレポート（30%）発表（10%）			
実務経験について	高等学校及び短期大学図書館司書（専門員）として37年間勤務			

授業科目	読書と豊かな人間性		担当者	木戸裕子
	〔履修年次〕	2年	授業外対応	オフィスアワーに準じる
	〔学期〕	後期	〔単位〕	2
			〔必修/選択〕	選択
			〔授業形態〕	講義形式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】本と図書館に関する現状を学び、読書が子どもの成長にもたらすものについて考える。</p> <p>【概要】子どもにとって読書とは、広い世界への興味や想像力をはぐくむために大切なものである。この授業では、本と図書館に関する話題や、読書活動の方法を通して、読書が私たちにもたらす豊かな世界を考えていく。授業では、実際に図書館や書店を訪問したり、読みきかせ、ブックトークなどの子どもの読書の手助けとなる方法を実際に体験したりする。</p> <p>【到達目標】読書と心の豊かさの関連について考えることができる。児童生徒の読書活動に対する学校図書館の役割を理解する。様々な読書活動（読み聞かせ、ブックトークなど）の方法を知る。自分の読書活動について振り返る。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 立田 慶裕編著『読書教育の方法―学校図書館の活用に向けて―』学文社</p> <p>(2) 「読むチカラ」プロジェクト編「鍛えよう！読むチカラ学校図書館で育てる25の方法」明治書院、小林功「楽しい読み聞かせ 改訂版」全国学校図書館協議会、渡部康夫「読む力を育てる読書のアニメーション」全国学校図書館協議会、</p>			
授業スケジュール	<p>第1回 読書教育とは何か：発達に応じた読書</p> <p>第2回 読書教育の担い手：学校図書館を支える人々</p> <p>第3回 学校図書館の歴史：制度としての学校図書館</p> <p>第4回 読書教育のための学校環境：学校における読書環境、地域との連携</p> <p>第5回 読書教育の方法1：就学前・学校全体</p> <p>第6回 読書教育の方法2：教科と読書教育</p> <p>第7回 小学校の読書：物語を楽しみ、言葉をはぐくむ</p> <p>第8回 中学校・高校の読書教育：言語教育と科学的探究の融合</p> <p>第9回 公共図書館の児童室と学校図書館：グループワークとディスカッション</p> <p>第10回 発達を支える読書：特別支援教育との関係</p> <p>第11回 読書活動1：読書案内、ブックトーク、ブックリスト</p> <p>第12回 読書活動2：読み聞かせ、読みあい、ストーリーテリング</p> <p>第13回 読書活動3：パネルシアター、紙芝居</p> <p>第14回 実演1：ブックトーク、読み聞かせ、読みあいなど</p> <p>第15回 実演2：ブックトーク、読み聞かせ、読みあいなど</p>			
授業外学習(予習・復習)	積極的に読書活動に取り組み、読書記録を取るようにする。			
成績評価の方法	課題提出(50%)と、授業第14回、15回での実演(50%)			
実務経験について	なし			

授業科目	情報メディアの活用		担当者	竹本 寛秋
	〔履修年次〕	2	授業外対応	適宜対応(要予約)
	〔学期〕	後期	〔単位〕	2
			〔必修/選択〕	選択
			〔授業形態〕	講義方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】</p> <p>高度情報化社会である現代における多様な情報メディアの特性を学び、学校図書館での活用方法について考える。</p> <p>【概要】</p> <p>テクノロジーの発展により高度情報化した現代において、情報と人々の関係は急速に変化している。新たな情報環境を積極的に活用していくことが学校図書館には常に求められており、その中で、司書教諭は多様なメディアについて理解し、活用する能力を持つことが期待される。授業においては、情報化社会と人間の関係について基礎的な理解に基づき、様々なメディアの特性を知って、効果的に活用する方法を学ぶ。またデジタル社会における著作権について学ぶ。</p> <p>【到達目標】</p> <p>現代社会の多様な情報メディアの特性について理解し、説明できる。</p> <p>学校図書館における情報メディアを活用した教育や応用の手法について理解し、説明できる。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) プリントを配布する。</p> <p>(2) なし</p>			
授業スケジュール	<p>第1回 高度情報化社会と人間：情報化社会と司書教諭の役割</p> <p>第2回 情報メディアの歴史の変遷</p> <p>第3回 学校教育と情報メディア</p> <p>第4回 情報メディアの種類と特性</p> <p>第5回 情報メディアの選択：状況に応じた選択の必要と留意点</p> <p>第6回 視聴覚メディアの活用</p> <p>第7回 情報メディアの活用1：コンピュータの活用と運用</p> <p>第8回 教育メディアの活用2：教育用ソフトウェアの活用</p> <p>第9回 情報メディアの活用3：データベースと情報検索</p> <p>第10回 情報メディアの活用4：インターネットと情報検索</p> <p>第11回 情報メディアの活用5：インターネットによる情報発信</p> <p>第12回 情報セキュリティ</p> <p>第13回 ネットワーク環境と学校教育</p> <p>第14回 学校図書館メディアと著作権</p> <p>第15回 まとめ：情報メディア活用の課題と将来</p>			
授業外学習(予習・復習)	教科書の精読、授業で課す課題の調査など。			
成績評価の方法	授業での課題(30%)、期末試験(70%)			
実務経験について	高等学校、高等専門学校に教員として勤務			